

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第2学年	単位数	3単位
		教科書	なし		
科 目	総合実習	副教材	なし		
科目の目標	(1) 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けようとする。 (2) 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	農業に関する総合的な学習や実習を通して、目的や条件に応じて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業関連産業に携わる人材に求められる倫理観や思考を深め、科学的根拠に基づいて合理的かつ創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業関連産業の経営や管理に関心を持ち、農村の振興や社会貢献等、農業の果たす意義や役割を理解し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法
			知	思	主		
一 学 期	1 オリエンテーション 「総合実習」の意義や評価の方法を理解します。  2 実習部門 【作物】 例 作物の栽培 (イネ、ダイズ、麦) (1)播種 (2)定植 (3)除草 (4)追肥 (5)収穫	1 専攻班に分かれローテーションを実施し、農産物生産に関する体験的な実験・実習を通して、基礎的な知識と技術を習得します。	○			各部門において、農業に関する総合的な学習や実習を通して、目的や条件に応じて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解しているか。	定期考査や実習の技能から総合的に評価します。
二 学 期	【野菜】 例 夏野菜 (トマト、ナス) (1)播種 (2)施肥・消毒 (3)収穫  【果樹】 例 カキ (1)摘果 (2)消毒 (3)収穫	2 栽培に必要な技術を習得し、各農作物の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てることを目標にしています。		○		農業関連産業に携わる人材に求められる、倫理観や思考を深め、科学的根拠に基づいて合理的かつ創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現できているか。	記録簿から評価します。
三 学 期	【草花】 例 春苗 (ペチュニア、マリーゴールド) (1)播種 (2)鉢あげ (3)施肥・消毒  【バイテク】 例 コショウラン (1)植え替え (2)支柱立て (3)鉢替え				○	農業関連産業の経営や管理に関心を持ち、農村の振興や社会貢献等、農業の果たす意義や役割を理解し、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。	服装や、実験・実習に取り組む態度から総合的に評価します。